

# ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

## 運用報告書(全体版)

### 第16期

(決算日 2025年10月20日)

(作成対象期間 2025年4月19日～2025年10月20日)

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の中型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2750>  
<2751>

#### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2017年10月19日～2027年10月18日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの受益証券
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（D R（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

為替ヘッジあり

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後 配当込み、米ドルベース) (参考指數)	株式 組入比率	株式 先物比率	投資証券 組入比率	純資産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率					
12期末(2023年10月18日)	円 10,843	円 200	% △ 3.9	% 18,383	% 5.9	% 95.4	% —	% 1.6 528
13期末(2024年4月18日)	11,603	100	7.9	21,224	15.5	91.9	—	1.3 514
14期末(2024年10月18日)	11,910	850	10.0	24,806	16.9	95.0	—	1.7 442
15期末(2025年4月18日)	10,126	0	△ 15.0	22,537	△ 9.1	93.5	—	1.8 357
16期末(2025年10月20日)	11,615	40	15.1	28,557	26.7	94.9	—	1.7 379

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S &amp; P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指標の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指標は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指標提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指標は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

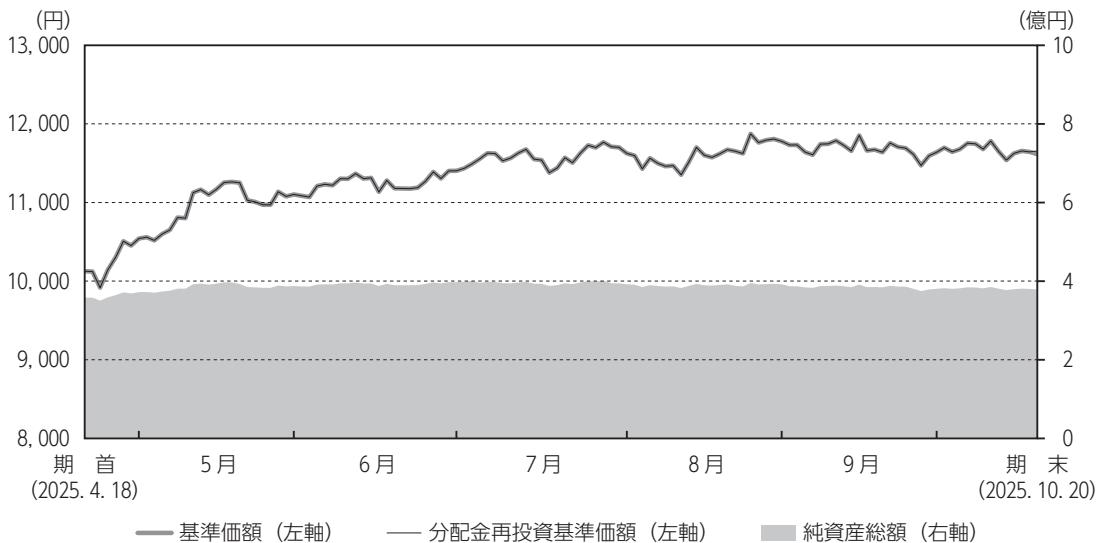
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）は、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遗漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



# 運用経過

## 基準価額等の推移について



\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ■基準価額・騰落率

期首：10,126円

期末：11,615円（分配金40円）

騰落率：15.1%（分配金込み）

### ■基準価額の主な変動要因

主として米国の中型株式等に投資した結果、米国中型株式市況が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数（税引後 配当込み、米ドルベース）		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
	騰 落 率	(参考指數)	騰 落 率				
(期首) 2025年4月18日	円 10,126	% —	22,537	% —	93.5	% —	% 1.8
4月末	10,543	4.1	23,726	5.3	94.2	% —	1.8
5月末	11,101	9.6	25,249	12.0	92.5	% —	1.8
6月末	11,403	12.6	26,385	17.1	94.2	% —	1.8
7月末	11,625	14.8	27,211	20.7	96.6	% —	1.8
8月末	11,777	16.3	27,828	23.5	94.3	% —	1.7
9月末	11,639	14.9	28,533	26.6	95.4	% —	1.7
(期末) 2025年10月20日	11,655	15.1	28,557	26.7	94.9	% —	1.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2025. 4. 19～2025. 10. 20）

### ■米国中型株式市況

米国中型株式市況は上昇しました。

米国中型株式市況は、2025年4月初に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、当成期首より上昇して始まりました。その後、米国の財政赤字拡大への懸念などを背景に下落する局面もありましたが、米国と主要各国との間で貿易協議が進展し、関税をめぐる懸念が後退したことなどを受けて、6月から7月にかけて堅調に推移しました。その後は、インフレ再燃に対する懸念などが重しとなる局面もありましたが、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ再開などを支えに小動きで推移しました。

### 前作成期末における「今後の運用方針」

#### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

#### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスタートーズ・U S・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

トランプ政権の連邦予算削減やインフレ再燃に繋がる関税政策によって経済活動が抑制される可能性があり、米国の成長鈍化と株式市場のボラティリティ上昇のリスクが高まりつつあります。関税政策によって、F R B（米国連邦準備制度理事会）の金融政策に関する舵取りがより難しいものとなっており、金利がより長期にわたって高止まりする可能性があることから、企業業績や経済への影響を注視していく方針です。このような不確実性の高い環境においては、政策や経済成長の着地点を予想するよりも、持続的な収益成長、質の高いバランスシート、経験豊富な経営陣、高い競争力、適正なバリュエーションを持つ銘柄を見極めることが重要であると考えます。今後も米国経済の動向を注視しつつ、安定したリスク調整後リターンの獲得をめざしていく方針です。

## ポートフォリオについて

(2025. 4. 19 ~ 2025. 10. 20)

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

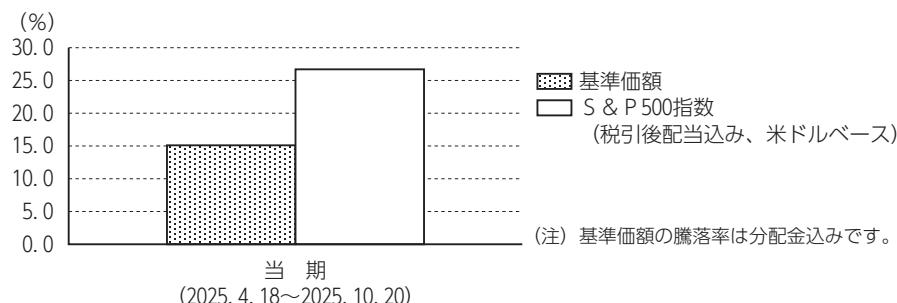
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターーズ・U.S.・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、関税をめぐる懸念の緩和と底堅い米国景気がプラスとみた資本財・サービスや、金利低下が追い風となると予想した不動産などの比率を上げました。一方で、薬価引下げをめぐる不透明感などが重しとなるとみたヘルスケアや、利下げの再開が逆風となる金融などの比率を引下げました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当成期の1万口当たり分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当たり）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期
	2025年4月19日 ～2025年10月20日
<b>当期分配金（税込み）(円)</b>	<b>40</b>
対基準価額比率 (%)	0.34
当期の収益 (円)	40
当期の収益以外 (円)	—
<b>翌期繰越分配対象額 (円)</b>	<b>2,139</b>

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」

は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当たり）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 47.51円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	1,045.45
(d) 分配準備積立金	1,086.71
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,179.69
(f) 分配金	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,139.69

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



# 今後の運用方針

## ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

## ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスタートーズ・U.S.・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行ってまいります。

米国経済は依然として底堅く推移していますが、労働市場の減速や関税の影響など、いくつかの懸念材料も見られます。こうした中、F.R.B.（米国連邦準備制度理事会）は難しい金融政策の舵取りを迫られていますが、利下げはさまざまな業種の企業にとって追い風になるとみています。

A.I.（人工知能）は、長期的な経済成長をけん引する重要な投資テーマですが、今後は勝ち組と負け組の選別が進むと予想されるため、独自のポジションを確立し競争力を維持できる銘柄の見極めに注力しています。また、これまでA.I.関連の一部銘柄が市場の上昇をけん引してきましたが、今後は投資機会がより幅広い銘柄に広がる可能性があるとみています。

ただし、米国中型グロース株式市場では、一部の銘柄に、バリュエーションが収益の成長に見合わず過熱気味となっているものも見受けられます。当ファンドでは、収益の裏付けがあり、適正なバリュエーションの銘柄を選好していく方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2025. 4. 19~2025. 10. 20)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	103円	0.909%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,386円です。
(投信会社)	(54)	(0.474)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(48)	(0.418)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0.021	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.021)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
その他費用	2	0.018	その他費用=当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.006)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	108	0.948	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

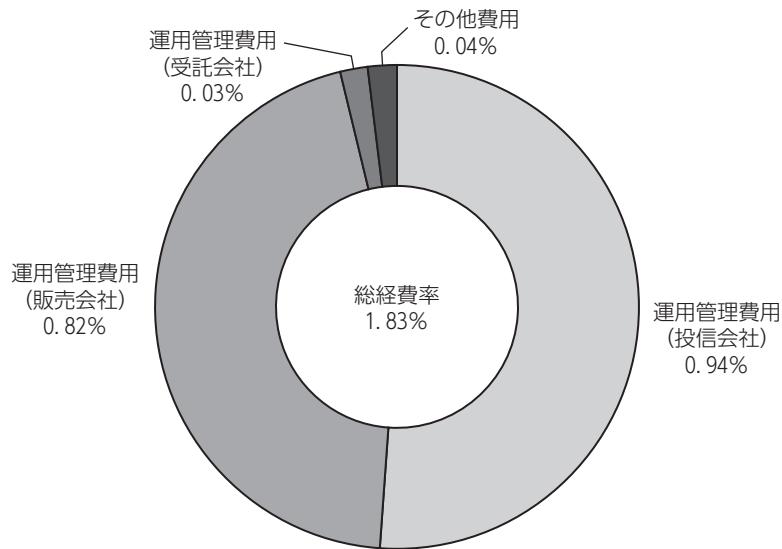
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.83%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ■売買および取引の状況

## 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年4月19日から2025年10月20日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ダイワ／ジャナス 米国中型グロース株 マザーファンド	千口 1,043	千円 3,000	千口 21,282	千円 63,300

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年4月19日から2025年10月20日まで)

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,142,585千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,328,154千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.61

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

## 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株マザーファンド	千口 142,087	千口 121,848	千円 380,252

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2025年10月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株マザーファンド	380,252	96.9
コール・ローン等、その他	12,309	3.1
投資信託財産総額	392,562	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので  
す。なお、10月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝  
151.00円です。

(注3) ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（9,914,493千円）の投資信託財産総額（10,059,549千円）に対する比率は、98.6%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年10月20日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	756,078,381円
コール・ローン等	12,309,942
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株 マザーファンド（評価額）	380,252,910
未収入金	363,515,529
(B)負債	377,069,740
未払金	371,656,652
未払収益分配金	1,305,217
未払解約金	583,149
未払信託報酬	3,514,040
その他未払費用	10,682
(C)純資産額（A－B）	379,008,641
元本	326,304,379
次期繰越損益金	52,704,262
(D)受益権総口数	326,304,379口
1万口当り基準価額（C／D）	11,615円

\*期首における元本額は353,547,535円、当作成期間中ににおける追加設定元本額は9,873円、同解約元本額は27,253,029円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は11,615円です。

■損益の状況

当期 自 2025年4月19日 至 2025年10月20日

項目	当期
(A) 配当等収益	3,796円
受取利息	3,796
(B) 有価証券売買損益	53,435,822
売買益	89,772,258
売買損	△ 36,336,436
(C) 信託報酬等	△ 3,536,544
(D) 当期損益金 (A + B + C)	49,903,074
(E) 前期繰越損益金	△ 27,066,149
(F) 追加信託差損益金	31,172,554
(配当等相当額)	( 34,113,751)
(売買損益相当額)	(△ 2,941,197)
(G) 合計 (D + E + F)	54,009,479
(H) 収益分配金	△ 1,305,217
次期繰越損益金 (G + H)	52,704,262
追加信託差損益金	31,172,554
(配当等相当額)	( 34,113,751)
(売買損益相当額)	(△ 2,941,197)
分配準備積立金	35,705,430
繰越損益金	△ 14,173,722

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：981,026円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,550,594円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	34,113,751
(d) 分配準備積立金	35,460,053
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	71,124,398
(f) 分配金	1,305,217
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	69,819,181
(h) 受益権総口数	326,304,379□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当たり分配金(税込み)

40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 為替ヘッジなし

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指數)	期中騰落率				
12期末(2023年10月18日)	円 15,118	円 700	% 10.1	24,380	% 18.0	94.1	—	% 1.6	百万円 5,222
13期末(2024年4月18日)	15,885	1,500	15.0	29,014	19.0	91.9	—	1.3	5,260
14期末(2024年10月18日)	16,492	900	9.5	32,959	13.6	93.6	—	1.7	5,445
15期末(2025年4月18日)	13,593	0	△ 17.6	28,415	△ 13.8	94.6	—	1.8	4,386
16期末(2025年10月20日)	16,733	150	24.2	38,164	34.3	94.0	—	1.7	5,045

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）は、S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指標は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

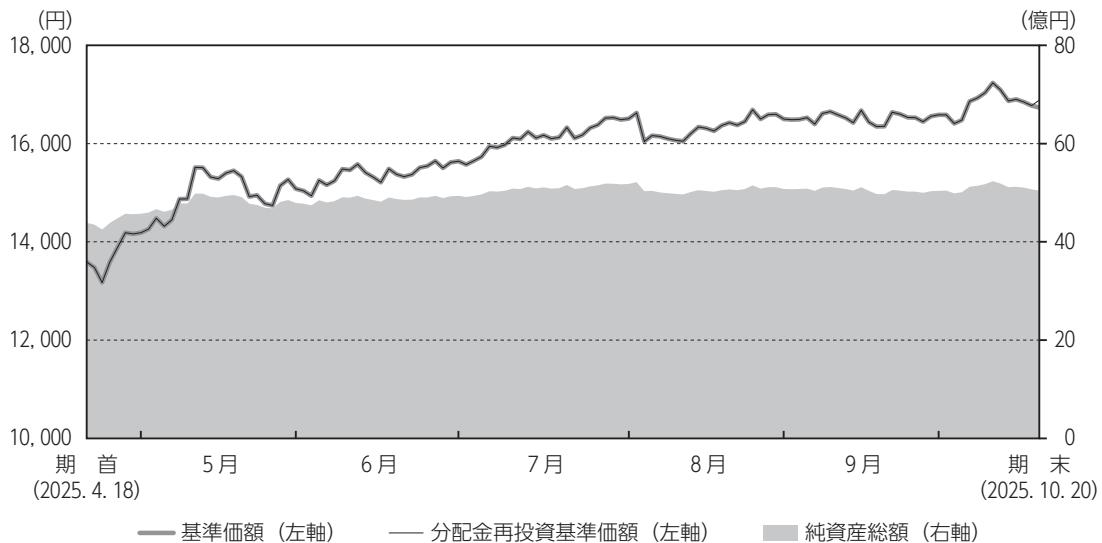
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）は、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいづれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遗漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



# 運用経過

## 基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額・騰落率

期 首：13,593円

期 末：16,733円（分配金150円）

騰落率：24.2%（分配金込み）

## 基準価額の主な変動要因

主として米国の中型株式等に投資した結果、米国中型株式市況が上昇したことや、米ドルが対円で上昇（円安）したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額	S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率 (参考指數)	騰 落 率			
(期首) 2025年4月18日	円 13,593	% —	% 28,415	% 94.6	% —	% 1.8
4月末	14,188	4.4	29,938	5.4	95.0	— 1.8
5月末	15,081	10.9	32,149	13.1	94.5	— 1.8
6月末	15,643	15.1	33,816	19.0	94.5	— 1.8
7月末	16,507	21.4	35,977	26.6	94.8	— 1.7
8月末	16,499	21.4	36,185	27.3	94.8	— 1.7
9月末	16,586	22.0	37,596	32.3	94.3	— 1.7
(期末) 2025年10月20日	16,883	24.2	38,164	34.3	94.0	— 1.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2025. 4. 19～2025. 10. 20）

### ■米国中型株式市況

米国中型株式市況は上昇しました。

米国中型株式市況は、2025年4月初に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好感され、当作成期首より上昇して始まりました。その後、米国の財政赤字拡大への懸念などを背景に下落する局面もありましたが、米国と主要各国との間で貿易協議が進展し、関税をめぐる懸念が後退したことなどを受けて、6月から7月にかけて堅調に推移しました。その後は、インフレ再燃に対する懸念などが重しことなる局面もありましたが、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ再開などを支えに小動きで推移しました。

### ■為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まつたことから、上昇して始まりました。2025年5月後半に入ると、日本国内の金利上昇を受けて日米金利差の縮小が意識され、上昇幅を縮小しました。7月に入ると、米国における利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まつたことなどから、円安米ドル高が進展しました。当作成期末にかけては、自民党総裁選挙での高市早苗氏勝利を受けて金融・財政政策で緩和的なスタンスを取るとの思惑から、再び円安米ドル高が進みました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスタートーズ・U.S.・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

トランプ政権の連邦予算削減やインフレ再燃に繋がる関税政策によって経済活動が抑制される可能性があり、米国の成長鈍化と株式市場のボラティリティ上昇のリスクが高まりつつあります。関税政策によって、F R B（米国連邦準備制度理事会）の金融政策に関する舵取りがより難しいものとなっており、金利がより長期にわたって高止まりする可能性があることから、企業業績や経済への影響を注視していく方針です。このような不確実性の高い環境においては、政策や経済成長の着地点を予想するよりも、持続的な収益成長、質の高いバランスシート、経験豊富な経営陣、高い競争力、適正なバリュエーションを持つ銘柄を見極めることが重要であると考えます。今後も米国経済の動向を注視しつつ、安定したリスク調整後リターンの獲得をめざしていく方針です。

## ポートフォリオについて

(2025. 4. 19～2025. 10. 20)

### ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

### ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

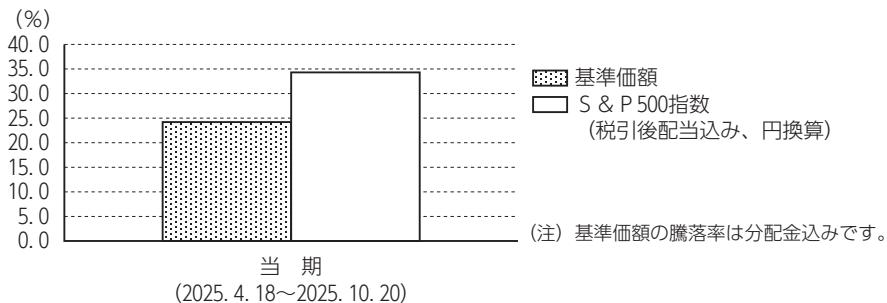
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスタートーズ・U.S.・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、関税をめぐる懸念の緩和と底堅い米国景気がプラスとみた資本財・サービスや、金利低下が追い風となると予想した不動産などの比率を引上げました。一方で、薬価引下げをめぐる不透明感などが重しとなるとみたヘルスケアや、利下げの再開が逆風となる金融などの比率を引下げました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当成期の1万口当たり分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当たり）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2025年4月19日 ～2025年10月20日	
当期分配金（税込み）(円)	150	
対基準価額比率 (%)	0.89	
当期の収益 (円)	150	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	6,732	

### ■収益分配金の計算過程（1万口当たり）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 67.96円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 313.25
(c) 収益調整金	1,452.28
(d) 分配準備積立金	5,049.46
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,882.97
(f) 分配金	150.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,732.97

(注) ✓ を付した該当項目から分配金を計上しています。

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



# 今後の運用方針

## ■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

## ■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスタートーズ・U.S.・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行ってまいります。

米国経済は依然として底堅く推移していますが、労働市場の減速や関税の影響など、いくつかの懸念材料も見られます。こうした中、F R B（米国連邦準備制度理事会）は難しい金融政策の舵取りを迫られていますが、利下げはさまざまな業種の企業にとって追い風になるとみています。

A I（人工知能）は、長期的な経済成長をけん引する重要な投資テーマですが、今後は勝ち組と負け組の選別が進むと予想されるため、独自のポジションを確立し競争力を維持できる銘柄の見極めに注力しています。また、これまでA I関連の一部銘柄が市場の上昇をけん引してきましたが、今後は投資機会がより幅広い銘柄に広がる可能性があるとみています。

ただし、米国中型グロース株式市場では、一部の銘柄に、バリュエーションが収益の成長に見合わず過熱気味となっているものも見受けられます。当ファンドでは、収益の裏付けがあり、適正なバリュエーションの銘柄を選好していく方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2025. 4. 19～2025. 10. 20)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	144円	0.909%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は15,860円です。</b>
(投信会社)	(75)	(0.474)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(66)	(0.418)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0.021	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(3)	(0.020)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
その他費用	2	0.015	その他費用=当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	150	0.945	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

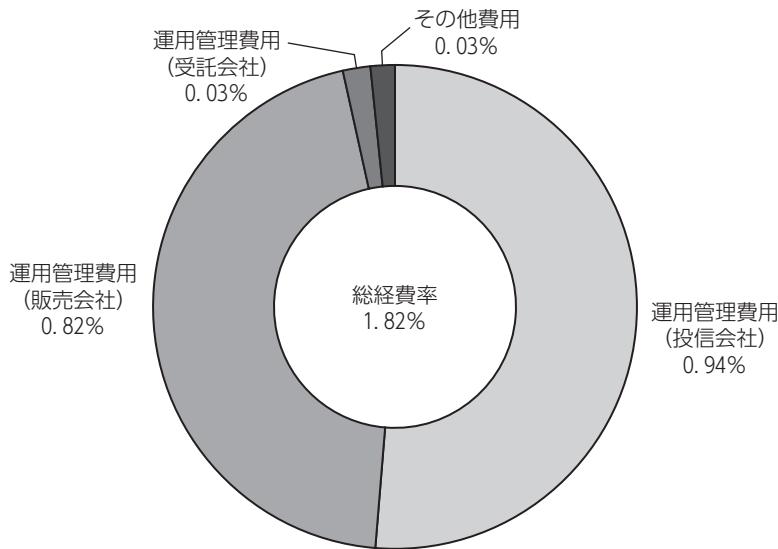
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

# ダイワ/ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

## ■売買および取引の状況

### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年4月19日から2025年10月20日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ダイワ/ジャナス 米国中型グロース株 マザーファンド	千口 3,689	千円 11,000	千口 159,597	千円 473,000

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年4月19日から2025年10月20日まで)

項 目	当 期
	ダイワ/ジャナス米国中型 グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,142,585千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,328,154千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.61

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ/ジャナス米国中型 グロース株マザーファンド	千口 1,761,606	千口 1,605,697	千円 5,010,900

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2025年10月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ/ジャナス米国中型 グロース株マザーファンド	5,010,900	97.1
コール・ローン等、その他	149,897	2.9
投資信託財産総額	5,160,797	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので  
す。なお、10月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝  
151.00円です。

(注3) ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（9,914,493千円）の投資信託財産総額（10,059,549千円）に対する比率は、98.6%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年10月20日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	5,160,797,107円
コール・ローン等	46,197,041
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株 マザーファンド（評価額）	5,010,900,066
未収入金	103,700,000
(B)負債	115,580,575
未払収益分配金	45,227,014
未払解約金	25,219,636
未払信託報酬	44,995,998
その他未払費用	137,927
(C)純資産額 (A - B)	5,045,216,532
元本	3,015,134,300
次期繰越損益金	2,030,082,232
(D)受益権総口数	3,015,134,300口
1万口当り基準価額 (C / D)	16,733円

\*期首における元本額は3,227,095,683円、当作成期間中における追加設定元本額  
は13,341,088円、同解約元本額は225,302,471円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は16,733円です。

## ■損益の状況

当期 自 2025年4月19日 至 2025年10月20日

項目	当期
(A) 配当等収益	53,364円
受取利息	53,364
(B) 有価証券売買損益	1,033,664,298
売買益	1,086,277,499
売買損	△ 52,613,201
(C) 信託報酬等	△ 45,133,925
(D) 当期損益金 (A + B + C)	988,583,737
(E) 前期繰越損益金	648,843,544
(F) 追加信託差損益金	437,881,965
(配当等相当額)	( 430,095,585)
(売買損益相当額)	( 7,786,380)
(G) 合計 (D + E + F)	2,075,309,246
(H) 収益分配金	△ 45,227,014
次期繰越損益金 (G + H)	2,030,082,232
追加信託差損益金	437,881,965
(配当等相当額)	( 430,095,585)
(売買損益相当額)	( 7,786,380)
分配準備積立金	1,592,200,267

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するための要する費用：12,553,898円（未監査）

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,492,989円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	94,451,368
(c) 収益調整金	437,881,965
(d) 分配準備積立金	1,522,482,924
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,075,309,246
(f) 分配金	45,227,014
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,030,082,232
(h) 受益権総口数	3,015,134,300□

## 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当たり分配金(税込み)	150円
----------------	------

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

## 分配金の課税上の取扱いについて

- 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

# ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

## 運用報告書 第16期 (決算日 2025年10月20日)

(作成対象期間 2025年4月19日～2025年10月20日)

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（D R（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券
株式組入制限	無制限

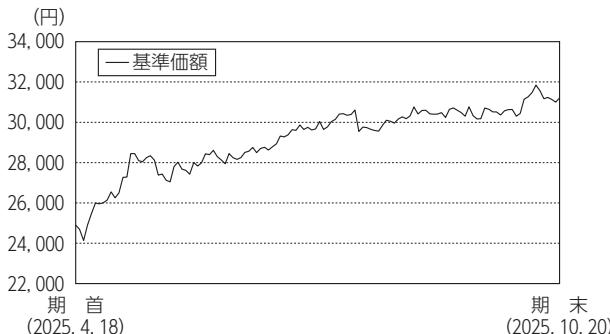
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P 500 指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指標)	株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
	騰 落 率	（%）				
(期首) 2025年 4月18日	24,901	—	28,415	94.6	—	1.8
4月末	26,006	4.4	29,938	95.0	—	1.8
5月末	27,682	11.2	32,149	94.5	—	1.8
6月末	28,757	15.5	33,816	94.4	—	1.8
7月末	30,390	22.0	35,977	94.9	—	1.7
8月末	30,419	22.2	36,185	94.8	—	1.7
9月末	30,628	23.0	37,596	94.3	—	1.7
(期末) 2025年10月20日	31,207	25.3	38,164	94.6	—	1.7

(注1) 謄落率は期首比。

(注2) S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）は、S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数值は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

## ◆基準価額等の推移について

## 【基準価額・騰落率】

期首：24,901円 期末：31,207円 謄落率：25.3%

## 【基準価額の主な変動要因】

主として米国の中型株式等に投資した結果、米国中型株式市況が上昇したことや、米ドルが円安へ上昇（円安）したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## ◆投資環境について

## ○米国中型株式市況

米国中型株式市況は上昇しました。

米国中型株式市況は、2025年4月初に相互関税の上乗せ部分が発動された直後、その大部分の適用が90日間停止されたことなどが好評され、当成期首より上昇して始まりました。その後、米国の財政赤字拡大への懸念などを背景に下落する局面もありましたが、米国と主要各国との間で貿易協議が進展し、関税をめぐる懸念が後退したことなどを受けて、6月から7月にかけて堅調に推移しました。その後は、インフレ再燃に対する懸念などが重しとなる局面もありましたが、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ再開などを支えに小動きで推移しました。

## ○為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当成期首より、貿易交渉の進展を背景にリスク選好が強まることから、上昇して始まりました。2025年5月後半に入ると、日本国内の金利上昇を受けて日米金利差の縮小が意識され、上昇幅を縮小しました。7月に入ると、米国における利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まることなどから、円安米ドル高が進展しました。当成期末にかけては、自民党総裁選挙での高市早苗氏勝利を受けて金融・財政政策で緩和的なスタンスを取るとの思惑から、再び円安米ドル高が進みました。

## ◆前成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターーズ・U S ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

トランプ政権の連邦予算削減やインフレ再燃に繋がる関税政策によって経済活動が抑制される可能性があり、米国の成長鈍化と株式市場のボラティリティ上昇のリスクが高まりつつあります。関税政策によって、F R B（米国連邦準備制度理事会）の金融政策に関する舵取りがより難しいものとなっており、金利がより長期にわたって高止まりする可能性があることから、企業業績や経済への影響を注視していく方針です。このような不確実性の高い環境においては、政策や経済成長の着地点を予想するよりも、持続的な収益成長、質の高いバランスシート、経験豊富な経営陣、高い競争力、適正なバリュエーションを持つ銘柄を見極めることが重要であると考えます。今後も米国経済の動向を注視しつつ、安定したリスク調整後リターンの獲得をめざしていく方針です。

## ◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターーズ・U S ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、関税をめぐる懸念の緩和と底堅い米国景気がプラスとみた資本財・サービスや、金利低下が追い風となると予想した不動産などの比率を引上げました。一方で、薬価引下げをめぐる不透明感などが重しとなるとみたヘルスケアや、利下げの再開が逆風となる金融などの比率を引下げました。

# ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

## ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指標の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

## 《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスタートーズ・U.S.・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、今後の運用を行ってまいります。

米国経済は依然として底堅く推移していますが、労働市場の減速や関税の影響など、いくつかの懸念材料も見られます。こうした中、F R B (米国連邦準備制度理事会)は難しい金融政策の舵取りを迫られていますが、利下げはさまざまな業種の企業にとって追い風になるとみています。

A I (人工知能)は、長期的な経済成長をけん引する重要な投資テーマですが、今後は勝ち組と負け組の選別が進むと予想されるため、独自のポジションを確立し競争力を維持できる銘柄の見極めに注力しています。また、これまでA I関連の一部銘柄が市場の上昇をけん引してきましたが、今後は投資機会がより幅広い銘柄に広がる可能性があるとみています。

ただし、米国中型グロース株式市場では、一部の銘柄に、バリュエーションが収益の成長に見合わず過熱気味となっているものも見受けられます。当ファンドでは、収益の裏付けがあり、適正なバリュエーションの銘柄を選好していく方針です。

## (2)投資証券

(2025年4月19日から2025年10月20日まで)

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外 国	アメリカ	百株 3,759.69 ( 156.62 )	千アメリカ・ドル 28,546 ( — )	百株 1,114.96	千アメリカ・ドル 6,863

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	6円
(株式)	( 6 )
(投資証券)	( 0 )
有価証券取引税	0
(株式)	( 0 )
その他費用	4
(保管費用)	( 3 )
(その他)	( 1 )
合計	10

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

## ■売買および取引の状況

### (1)株式

(2025年4月19日から2025年10月20日まで)

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外 国	アメリカ	百株 3,759.69 ( 156.62 )	千アメリカ・ドル 28,546 ( — )	百株 1,114.96	千アメリカ・ドル 6,863

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれてありません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

## 株式

(2025年4月19日から2025年10月20日まで)

銘柄	買付	当期			銘柄	売付	株数	金額	平均単価
		千株	千円	円					
COSTAR GROUP INC (アメリカ)	13,843	164,388	11,875	円	GODADDY INC - CLASS A (アメリカ)	10,77	245,785	22,821	円
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS (アメリカ)	14,101	154,218	10,936	円	AMDOCS LTD (ガーンジイ)	11,227	142,891	12,727	円
PTC INC (アメリカ)	5,148	132,084	25,657	円	FORTIVE CORP (アメリカ)	18,476	141,878	7,679	円
GODADDY INC - CLASS A (アメリカ)	4,675	129,166	27,629	円	WR BERKLEY CORP (アメリカ)	8,865	96,114	10,842	円
REVVITY INC (アメリカ)	9,104	123,733	13,591	円	AVANTOR INC (アメリカ)	40,827	75,947	1,860	円
FLEX LTD (シンガポール)	22,789	117,495	5,155	円	APPLOVIN CORP CLASS A (アメリカ)	0,729	68,822	94,407	円
WR BERKLEY CORP (アメリカ)	11,018	113,207	10,274	円	RALLIANT CORP (アメリカ)	5,199	36,628	7,045	円
WORKDAY INC-CLASS A (アメリカ)	3,05	108,171	35,466	円	BOSTON SCIENTIFIC CORP (アメリカ)	2,232	33,030	14,798	円
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC (アメリカ)	2,198	102,993	46,857	円	LIBERTY MEDIA FORMULA ONE CORP SER (アメリカ)	2,258	32,814	14,532	円
ALLIANT ENERGY CORP (アメリカ)	11,576	101,987	8,810	円	WILLIS TOWERS WATSON PLC (アイルランド)	0,548	23,683	43,218	円

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

## (1)外国株式

銘柄	期首	当期末			業種等
	株数	株数	評価額	額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS INC	38.13	67.52	1,546	233,467	資本財・サービス
WR BERKLEY CORP	140.59	162.12	1,200	181,275	金融
DOLLAR TREE INC	25.26	46.7	450	68,006	生活必需品
ALLIANT ENERGY CORP	147.71	261.55	1,780	268,835	公益事業
FORTIVE CORP	103.58	—	—	—	資本財・サービス
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS INC	179.93	318.6	2,538	383,329	資本財・サービス
ARAMARK	191.03	347.36	1,345	203,144	一般消費財・サービス
DTE ENERGY COMPANY	36.68	68.76	976	147,383	公益事業
CBOE GLOBAL MARKETS INC	11.55	20.45	490	73,993	金融
GLOBAL PAYMENTS INC	29.25	47.56	406	61,344	金融
BURLINGTON STORES INC	11	19.48	534	80,755	一般消費財・サービス
TELEFLEX INC	52.37	92.73	1,188	179,410	ヘルスケア
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	47.39	91.6	1,510	228,013	資本財・サービス
CLEAN HARBORS INC	22.6	40.02	949	143,340	資本財・サービス
WEX INC	59.49	59.05	888	134,202	金融
CDW CORP/DE	22.85	41.65	634	95,878	情報技術
COSTAR GROUP INC	—	137.65	1,018	153,789	不動産
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	28.05	49.67	1,678	253,460	金融
GLOBUS MEDICAL INC - A	22.53	63.22	376	56,876	ヘルスケア
AMDOCS LTD	79.59	29.7	246	37,196	情報技術
CIMPRESS PLC	49.07	48.71	316	47,808	資本財・サービス
ICU MEDICAL INC	25.62	45.36	537	81,137	ヘルスケア
NXP SEMICONDUCTORS NV	32.59	57.71	1,237	186,789	情報技術

ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

銘 柄	期 首 株 数	当 期 末			業 種 等	
		株 数	評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
ZIFF DAVIS INC	百株 26.52	百株 26.32	千アメリカ・ドル 94	千円 14,299	コミュニケーション・サービス	
SAREPTA THERAPEUTICS INC	7.55	—	—	—	ヘルスケア	
KLA CORP	3.85	3.08	340	51,468	情報技術	
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	110.24	195.2	1,209	182,687	資本財・サービス	
RB GLOBAL INC	56.36	99.79	988	149,191	資本財・サービス	
GILDAN ACTIVEWEAR INC	137.41	249.32	1,514	228,669	一般消費財・サービス	
CANADIAN PACIFIC KANSAS CITY	—	56.8	434	65,621	資本財・サービス	
WORKDAY INC-CLASS A	—	30.5	714	107,883	情報技術	
WAYFAIR INC- CLASS A	38.58	68.31	562	84,901	一般消費財・サービス	
TRANSUNION	37.61	66.6	522	78,833	資本財・サービス	
ASCENDIS PHARMA A/S - ADR	19.75	34.97	736	111,153	ヘルスケア	
GODADDY INC - CLASS A	60.95	—	—	—	情報技術	
ARGENX SE - ADR	5.7	11.34	956	144,463	ヘルスケア	
STERIS PLC	15.79	27.96	671	101,415	ヘルスケア	
INGERSOLL-RAND INC	59.1	135.37	1,045	157,844	資本財・サービス	
DAYFORCE INC	87.62	203.15	1,386	209,391	資本財・サービス	
CORTEVA INC	93.48	167.32	1,027	155,129	素材	
REVVITY INC	79.71	169.51	1,583	239,117	ヘルスケア	
AVANTOR INC	233.65	—	—	—	ヘルスケア	
DYNATRACE INC	49.51	87.67	422	63,728	情報技術	
DOORDASH INC - A	23.32	19.98	525	79,364	一般消費財・サービス	
REVOLUTION MEDICINES INC	37.85	62.5	338	51,056	ヘルスケア	
VAXCYTE INC	46.34	93.06	394	59,566	ヘルスケア	
AVIDITY BIOSCIENCES INC	—	46.15	221	33,372	ヘルスケア	
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	197.35	349.46	1,092	164,901	資本財・サービス	
ON SEMICONDUCTOR CORP	132.65	237.97	1,250	188,758	情報技術	
AMEREN CORPORATION	64.38	114	1,202	181,642	公益事業	
APLOVIN CORP CLASS A	29.64	22.35	1,339	202,258	情報技術	
WATERS CORP	12.39	29.37	982	148,386	ヘルスケア	
WILLIS TOWERS WATSON PLC	14.1	19.66	649	98,010	金融	
DESCARTES SYSTEMS GROUP INC	—	35.85	345	52,119	情報技術	
ONEOK INC	19.84	35.13	239	36,119	エネルギー	
RENTOKIL INITIAL ADS EACH REPRESEN	135.2	239.41	640	96,703	資本財・サービス	
TFI INTERNATIONAL INC	33.78	59.82	565	85,405	資本財・サービス	
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	18.72	32.56	1,830	276,438	情報技術	
LIBERTY MEDIA FORMULA ONE CORP SER	100.38	156.47	1,548	233,788	コミュニケーション・サービス	
LIBERTY MEDIA FORMULA ONE CORP SER	12.8	22.67	206	31,181	コミュニケーション・サービス	
VERALTO CORP	31.4	55.6	571	86,273	資本財・サービス	
API GROUP CORP	117.32	382.15	1,308	197,580	資本財・サービス	
LANTHEUS HOLDINGS INC	17.39	33.71	187	28,301	ヘルスケア	
COOPER INC	32.83	58.13	418	63,172	ヘルスケア	
UL SOLUTIONS INC CLASS A	25.19	44.61	336	50,790	資本財・サービス	
FERGUSON ENTERPRISES LTD	52.86	93.6	2,217	334,881	資本財・サービス	
TE CONNECTIVITY LTD	15.54	27.51	613	92,626	情報技術	
STANDARDAERO	59.7	155.26	423	63,955	資本財・サービス	
FIRSTSERVICE SUBORDINATE VOTING CO	7.17	14.56	266	40,290	不動産	
FLEX LTD	290.78	514.89	3,199	483,128	情報技術	

銘柄	期首	当期末			業種等
		株数	評価額	外貨建金額	
			邦貨換算金額		
ILLUMINA INC	百株 19.73	百株 36.96	千アメリカ・ドル 352	千円 53,275	ヘルスケア
CARMAX INC	74.94	132.69	569	85,955	一般消費財・サービス
PTC INC	23.84	74.88	1,519	229,371	情報技術
BOSTON SCIENTIFIC CORP	114.25	91.93	912	137,759	ヘルスケア
ファンド合計	株数、金額 69銘柄	7,043.27	62,328	9,411,678	
	銘柄数<比率>	70銘柄		<94.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 外国投資証券

銘柄	期首	当期末			業種等
		口数	評価額	外貨建金額	
			邦貨換算金額		
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
LAMAR ADVERTISING CO-A	3,459	6,733	801	121,005	
LINEAGE INC	4,051	7,942	316	47,789	
合計	口数、金額 2銘柄	7.51	14,675	1,117	168,795
	銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄		<1.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2025年10月20日現在

項目	当期末		業種等
	評価額	比率	
	千円	%	
株式	9,411,678	93.6	
投資証券	168,795	1.7	
コール・ローン等、その他	479,075	4.7	
投資信託財産総額	10,059,549	100.0	

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので  
す。なお、10月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝151.00円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(9,914,493千円)の投資信託財産総額  
(10,059,549千円)に対する比率は、98.6%です。

# ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年10月20日現在

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	
コール・ローン等	10,059,549,846円
株式（評価額）	448,027,937
投資証券（評価額）	9,411,678,542
未収入金	168,795,404
未収配当金	27,554,886
未収配当金	3,493,077
<b>(B) 負債</b>	111,208,173
未払金	7,508,173
未払解約金	103,700,000
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	9,948,341,673
元本	3,187,820,541
次期繰越損益金	6,760,521,132
<b>(D) 受益権総口数</b>	3,187,820,541口
<b>1万口当り基準価額 (C / D)</b>	31,207円

\*期首における元本額は1,904,073,049円、当期成期間中における追加設定元本額は1,594,515,758円、同解約元本額は310,768,266円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
 ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり） 121,848,595円  
 ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし） 1,605,697,461円  
 ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用） 1,460,274,485円  
 \*当期末の計算口数当りの純資産額は31,207円です。

## ■損益の状況

当期 自 2025年4月19日 至 2025年10月20日

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	43,610,788円
受取配当金	37,537,382
受取利息	4,969,721
その他収益金	1,103,685
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	1,846,569,260
売買益	2,061,111,250
売買損	△ 214,541,990
<b>(C) その他費用</b>	△ 1,204,876
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	1,888,975,172
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	2,837,193,452
<b>(F) 解約差損益金</b>	△ 611,931,734
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	2,646,284,242
<b>(H) 合計 (D + E + F + G)</b>	6,760,521,132
<b>次期繰越損益金 (H)</b>	6,760,521,132

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P®、S & P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサプライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドは、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。